2022年10月10日
環境安全部

安全衛生だより第１０号

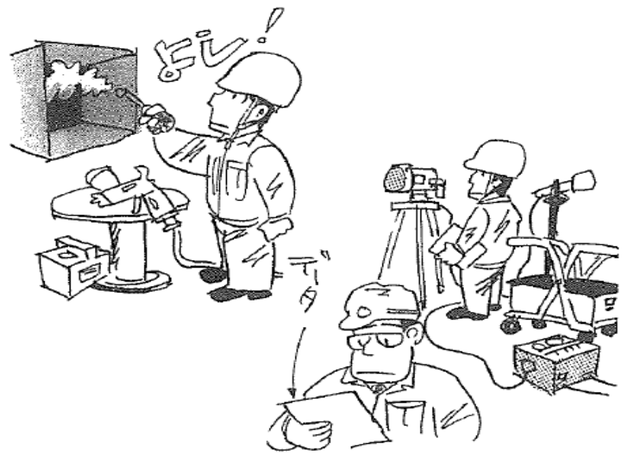
１１月全国行事

１）特定自主検査強調月間	１１月１日～３０日
２）ボイラーデー（鞴祭り）	１１月８日
３）秋の全国火災予防運動	１１月９日～１５日

安全・衛生・防災の心得　：　職場の「作業環境管理」を推進しよう

職場の「作業環境管理」は、私たちが働いている作業環境中の様々な有害因子を取り除いて適正な作業環境を確保するもので、労働衛生の基本的な３管理（作業環境管理・作業管理・健康管理）のひとつとして重要な事項です。特に最近は、事務所等でのコロナウイルスの拡散等による環境管理が問題になっています。作業環境管理を進めるにあたっては、まず的確な作業環境測定を行い、その結果を法令等で定められている管理濃度等に照らして適切に評価することが必要です。そして、その結果から、換気設備や局所排気装置など、各種の環境設備の改善や整備を行います。具体的には、次の事項等について管理の推進を図ることが必要です。

①有機溶剤等の有害なガス、蒸気、粉じん、騒音等の有害要因に労働者が晒される屋内外の作業場及び酸素欠乏危険場所における作業環境測定の実施とその結果の周知及びその結果に基づく作業環境の改善
②局所排気装置、除じん装置、排ガス処理装置、排液処理装置、遮へい設備等の適正な稼働並びに検査及び点検の実施の徹底
③粉じん等健康障害のおそれのある物質を取り扱う作業場所の清掃及び清潔の保持の徹底
④事務所等を含め、換気、採光、照明、便所等の点検および改善、など。



安全・衛生・防災の心得　：　あなたの「アイフレイル」（目の老化）は？

私たちの健康寿命を延ばす上で何より重要なのが、「フレイル」の予防です。フレイルとは「加齢や外的ストレスなどで身体の様々な機能が低下することによって、心身の健康障害に陥りやすい状態」を言います。その中でも目の機能が低下したり、そのリスクが高い状態を「アイフレイル」と言います。私たちは歳を重ねると、眼球は構造的にも機能的にも衰えていきます。そこに外的ストレスが加わると、目の機能が低下したり障害が現れたりします。近年、作業の精密化、パソコンなどＯＡ機器の使用、テレビやスマホの画面を長時間見るなど、目を酷使する機会が多くなっています。特にモノが見えにくくなったり目に不快感を感じたりするようになった時は注意が必要です。放っておくと目の機能低下が進み、重度の障害を引き起こすことになってしまいます。逆に早い段階で発見できれば適切な予防や治療が実施できて、機能低下の進行を遅らせたり症状を緩和させることも期待できます。下記の「アイフレイルセルフチェック」を行って、早期発見・早期処置を心がけましょう。

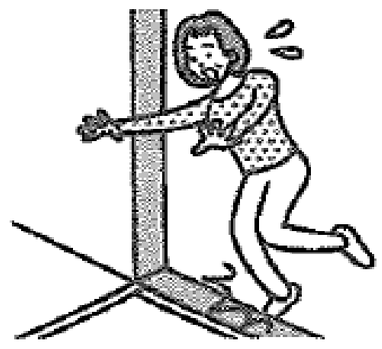
アイフレイル　セルフチェック

（公社 日本眼科医会）

① □ 目が疲れやすくなった
② □ 夕方になると見えにくくなることがある
③ □ 新聞や本を長時間見ることが少なくなった
④ □ 食事のときテーブルを汚すことがある
⑤ □ 眼鏡をかけてもよく見えないと感じることが多くなった
⑥ □ まぶしく感じやすい
⑦ □ まばたきしないとはっきりと見えないことがある
⑧ □ まっすぐの線が波打って見えることがある
⑨ □ 段差や階段で危ないと感じたことがある
⑩ □ 信号や道路標識を見落としたことがある

※二つ以上当てはまったら、アイフレイルかもしれません。
眼科で「アイフレイルをチェックしたい」と伝えて下さい。

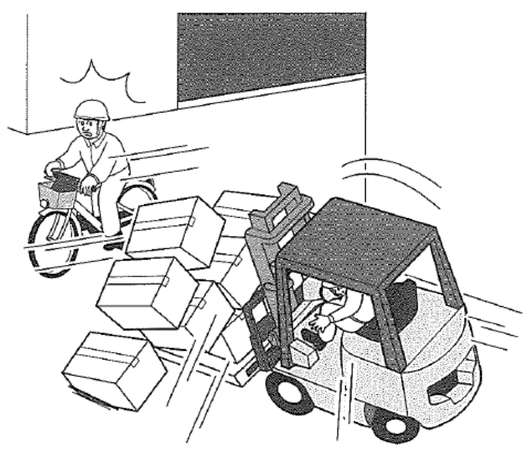
眼鏡をかけてもよく見えないと感じることが多くなった


段差や階段で危ないと感じたことがある

他社　事故・災害事例から：急ハンドルでフォークリフトが転倒

（１）災害発生状況

朝、遅れて出社したフォークリフトの運転手（３０歳）が、上司から荷積みを待っているトラックに急いで荷を運ぶように指示されてフォークリフトを運転していたところ、工場建屋の陰から出てきた自転車を避けようと急ハンドルを切って横転、車外に投げ出されて全治１か月の重傷を負いました。



（２）災害発生原因と補足事項

①急ぎの気持ちでフォークリフトの運転をしていたため、安全確認が不足していたこと。
②積み荷の安定が悪い状態でスピードを出していたため、急なハンドル操作でフォークリフトが横転したこと。
③監督者は急ぎの作業を指示する際、安全運転等について注意しなかったこと、など。

（３）再発防止対策

類似災害の防止のためには、次のような対策の徹底が必要です。
①作業は落ち着いて開始できるよう、時間には余裕を持って出勤・出社する。
②フォークリフト等の車両が走行する場所には表示や標識、カーブミラー等の設置を行う。
③フォークリフト運転業務従事者教育を実施し、スピード、急ハンドル、急ブレーキ、積載方法などの危険性について再教育を行う。
④急ぎの作業を指示する時、された時は、安全のポイントを確認し、注意する。
⑤危険を予測・予知して行動するよう習慣化を図る、など。

●環境安全部より：フォークリフトの運転士、周囲の作業者は各事業場で定められたルールを守り、適切な行動を徹底するようにお願い致します。特にフォークに荷がある時は急な上昇、下降、旋回などは行わないように注意して下さい。当社、構内作業安全基準書（改訂第２版）の中で、共通１－５・構内通行、作業２－２・フォークリフト荷役作業を記載しておりますのでご参照下さい。

安全衛生ことわざ・格言

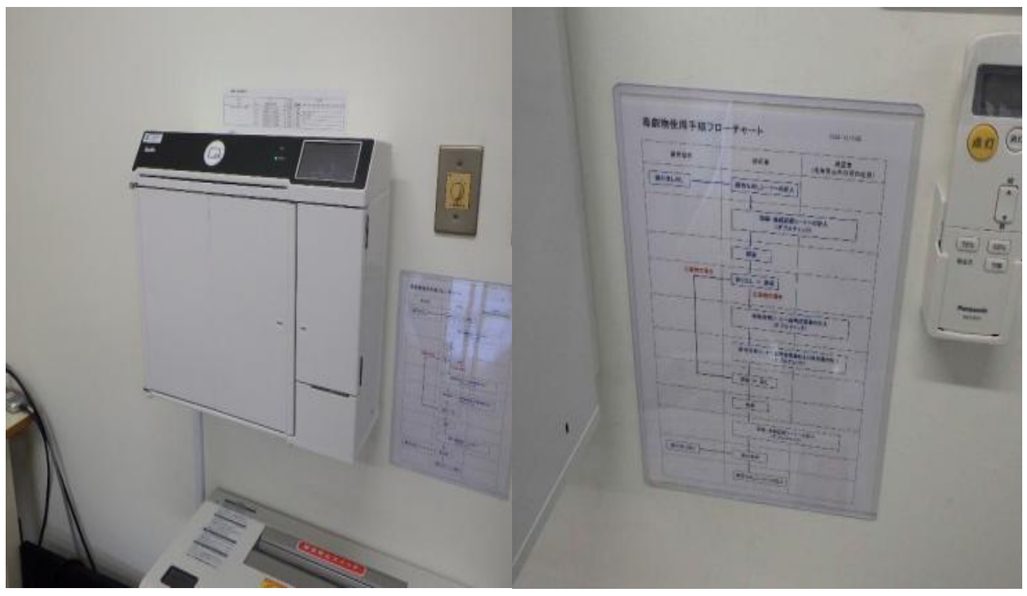
権兵衛が種まきゃカラスがほじくる　～みんなが責任者、工具･器具等の整理整頓～

「権兵衛が種まきゃカラスがほじくる」とは、百姓の権兵衛が野菜の種をまくと、すぐにその種をカラスがほじくり出してしまうということから、人が苦労してやったことを、別の人がすぐに後からぶち壊してしまうことの例えです。
職場でもこのようなことはないでしょうか。例えば、工具や器材などをきちんと使いやすいように整頓していても、それを持ち出した者が元通りの場所や容器にきちんと収めない。この繰り返しでは、それこそ権兵衛が種まきゃカラスがほじくると同じです。言うまでもなく整理・整頓とは、不要なものを処理し、必要な道具や器材などを効率的に安全にきちんと並べておくことです。これは、作業の流れや作業者の動作、作業の性質や職場の環境と密接な関係を持たせて計画的に行われているものです。このルールをめいめいが勝手に壊してしまうと収拾がつかないばかりか、作業性や安全衛生管理にも大きな弊害が生じてしまいます。くれぐれも整理・整頓という立派な種を、勝手にほじくり出して駄目にしてしまわないよう、皆で注意が必要です。

当社　良い事例（抜粋）

●九州第一工場
暑さ対策の換気設備の設置

●総合技術研究所
毒劇物の管理強化（キーボックス設置、管理フローの整備）



ヒヤリハット事例

●事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	作業中
どこで	工場内の未処理品置き場
何をしている時に	製品が入った段ボールを台車からパレットに移動させている時
どうなった	段ボールの底が抜けて製品が落下し、足にぶつかりそうになりヒヤリとした

以上